

会員数 58名 出席者44名 欠席者13名 免除会員5名
欠 席 者 麻田・有家・藤井・和泉享・加内・松山・岸上・中川・大西和・中野昌
曾川-会員

前々回出席率 78.2% (4/1)

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 岡田 将一郎
幹 事 陶国 栄帰
会報委員長 福田 洋子

お知らせ

4月のプログラム

- 1 (No.1)-客話
- 8 (No.2)-クラブフォーラム
- 15 (No.3)-会員卓話
- 22 (No.4)-会員卓話

他RC例会変更

ニコニコBOX;

よいことがありました
秋山憲夫君
新入会員、四国ガス飯尾支店長
をお迎えて
夏見君

<ニコニコ会計累積/ ¥287,000>

がんばるBOX;

出席できなくて
和泉金
倉田先生卓話ありがとうございます。
新会員飯尾様をお迎えて
岡田君
松山選手、マスターズ優勝おめでとう
ございます。感動しました！
夏見君

<がんばる会計累積/ ¥363,000>

例
会
場
・
事
務
局丸
亀
市
塩
飽
町
50
-
3
丸
亀
プ
ラ
ザ
ビ
ル
5
F

■会長挨拶

皆さんこんにちは、今週、松山英樹がやってくれました。

ゴルフ好きではなくても、このニュースで持ちきりでした、マスターズ優勝！朝が弱い僕も、さすがに起きてマスターズ見ました。松山英樹も最後の上がり3ホールはヨレヨレで、2位だったシャウフェレが16番で池に入れなかったらと思うとぞっとします。その前のホールで松山英樹が首位で4打差あるにもかかわらずイーグルを狙いに行き2オンを狙ったことに伏線があり、シャウフェレ、松山英樹も勝ちいく、やるべきことをするスタンスだったので、最終的には勝つべきものが勝つということで、松山秀樹くんが勝つ運命だったのかなと思います。

さて、このオーガスタナショナルゴルフクラブですが、一般人がプレーできるのか？調べてみますと、会員同伴ならできそうです。会員数は300人ほどだそうです。一説には、年会費は380万で、プレーフィーは、12000円ほどだそうです。コース自体は整備のために半年間はクローズしています。会員は、雲上の人しかいないでしょうからやはり普通の人はプレーはできませんね。やはり、テレビで観戦するのが、一番良いみたいです。ちなみに、ゴルフ発祥の地、全英オープンでも有名な「セントアンドリュース」比較的簡単にプレーができます。本当の予約は1年前からの抽選です。なかなか当たらないので確かにそれは無理なので、可能なのは優先パックです。パックの条件は、セントアンドリュースに4泊以上泊まって、周りのゴルフ場を含め4か所以上のラウンドが必要です。しかし時間に余裕のある人だけしか行けないですね。ただし、オフィシャルハンデーが24以下でないといけません。そして、名物の17番ホールは、ホテル方向に向かって打たなければなりません。スライスするとホテル直撃です。丸亀ロータリークラブのゴルフコンペは、セントアンドリュースでは無理だろうと思います。

■幹事報告

- ①4/8臨時理事会で新入会員候補の百十四銀行丸亀支店長 東原隆啓(ひがしはら たかあき)氏について審議
- ②4/24(土)善通寺でのIMは現時点で開催予定です。参加される方は現地集合をお願いします。善通寺市民会館12:30集合 13:00開始～15:30終了
- ③新入会員の飯尾氏の所属委員会は出席委員会です。
- ④新入会員候補の東原氏について、異議のある方は7日以内に文書の提出をお願いします。

■例会事業;会員卓話;倉田登会員

「コロナ禍における学校の取り組みについて」

まずお1年を振り返ると、昨年3月の緊急事態宣言を受けて学校が一斉休校となった。本校においても、まずは卒業式をやるのかどうか。在校生は出席させるのか。式の内容はどうするか。様々議論があったが、国歌や校歌の斉唱はなし等、内容を簡略化して多手前丸亀校では卒業式を行なった。

卒業式の開催は学校によって判断が分かれた。例えば、香川西のように県外から生徒が多く集まっているところでは中止、その他、前倒しや県立高校等の様に簡略化して行なった学校が多かった。その後、始業式や入学式はできたが、その後すぐに一斉休校に。2ヶ月間の一斉休校と言うことで学校行事や授業のスケジュールを急ぎ組み直した。夏になると徐々に緩和され、修学旅行は日帰りや泊まりも含めて開催する学校が多かった。ただ、大手前丸亀では中止した。と言うのも保護者にアンケートをとると、8割近く修学旅行の実施に心配という結果だったので中止という決定を行なった。

(裏へ続く)



その他、大学卒業組は卒業旅行に行けなかったことや、既卒の大学1年生に聞くと、大学生活はオンライン開催だったのでしんどかったという意見がやはり聞こえた。大学での勉強についても例年なら友人同士でサポートできていた部分もオンラインで会うことが今年はずもどかしい様子であった。

本校の生徒に話を戻すと、勉強はもちろんだが部活や学校行事を楽しみにしている生徒ももちろんおり、その部分が十分にできなかったのはとても寂しい様子であった。学校生活の中で日々の昼食は黙食。自分の席で黙々と。

また、ちょうど1年前はマスクは本当に不足していて、持ち合わせてない生徒には販売を行わざるを得なかったり、家庭科の授業でマスクを手作し対応していた。4月5月が休校だったが、5月は分散登校が始まり、授業はなしで提出物等の確認を行なった。この時期にパソコンを導入したことは大きな変化だった。中学校1年生は同一タブレットを購入してもらった。それ以上の在校生は家にあるものを活用してもらおう等したが、ゲームアプリが既に入っていたりなど、細かなルール作りが大変だった。良かったことは連絡帳をデジタル化することで効率化でき、また担当の教員のみでなく、学年主任など複数人が見ることはメリットとして感じた。それに伴い校内のwifi環境の整備も推進した。

今後、国が掲げる「ギガスクール構想」がある。これは義務教育(全国の小中学校)を受ける生徒に1人1台のタブレット等のパソコン配布し、デジタル機器を活用し授業の効率化や個々の資質・能力を育成するという国の政策だ。生徒のみでなく、教員の働き方改革にもつながると感じている。昔のポケベルの時代から高校生はほぼスマホ持つ時代になり、これからは1人1台のパソコンの時代になる。いずれ紙の教科書はなくなる時代がくるんじゃないか。デジタル教科書についてはメリットが多くあるが、教員がまだ上手く使いこなせていないことも事実としてある。デジタル教科書等のICTを活用するメリットとして例を挙げると、英語のスピーキングはその場で録音してボタン1つで提出できますし、宿題の提出はカメラで撮影し即提出、また出した出さないや提出時間等の記録が明確になったのは便利に感じている。

昨年1年間を振り返りオンライン授業についての感想は

良かった点として

- ・通学時間がかからない
- ・コロナの感染に気を使わなくて良い
- ・交通費もかからない

等のメリットを感じるものの上だけ制服で下パジャマの様子がチラッと見えてたり、緊張感が薄れる、友人との関係が希薄になってしまう等の弊害も感じた。また、オンライン当初にはスマホの通信制限や自宅のwifi環境等の環境面の不都合も感じた。また、今年からセンター試験が共通テストに変わった。共通テストでは思考力を重視する内容に変更し知識だけではなく、考える必要がある。また、問題が複雑になるなど情報処理能力も求められる内容であった。当初、平均点は下げましようという話だったが、コロナで授業が上手くできなかった側面もあり結局は難しい問題は省かれた。2024年以降は「情報」が新設される。

最後に進路指導においては時代の変化に合わせて生徒の視野を広げていける進

路指導を心がけている。